



下平川小学校
創立120周年記念芸能祭

下平川小学校の創立120周年記念「八光芸能祭」(同小PTA主催)が、11月11日に同校グラウンドでありました。芸能祭は、水墨画家の土屋秋恆さんによる沖永良部の植物をテーマにした水墨画パフォーマンスでスタート。その後、同校児童による合唱や踊り、さらに地元団体による舞踊やバンド演奏などの舞台発表で盛り上



がり、最後には上平川字の伝統芸能「上平川大蛇踊り」が披露されました。会場に訪れていた人たちは、暗闇の空に浮かぶ大蛇の迫力に、歓声を上げながら見入っていました。同校PTAの前田純也会長は、「これからも学校、PTA、地域で新たな歴史を築きながらも下平川校区の伝統を守っていききたい」と語っていました。



ソテツの味噌作り体験

ソテツの味噌作り体験教室が、11月11日、12日に松元ヨシ子(下平川)さん宅でありました。この体験教室には町内小学校の3年生以上が参加。普段手にしないソテツの実を割ったり、皮を剥がしたりしました。翌日には、洗った実を蒸し、バケツで発酵させる過程を見学。今回仕込んだ味噌は、3か月後に食べることができるそうです。



水墨画を学びました

水墨画家の土屋秋恆さんによる水墨画の特別授業が、11月14日に知名中学校でありました。この授業では、水墨画の基本的な知識や書き方、筆以外を使った技法などについて土屋さんが分かりやすく解説。生徒たちは、土屋さんが描く水墨画の速さと美しさに目を丸くしながらも、なかなか体験できない授業を楽しんでいました。



恒久平和を祈念して

知名町遺族会(村上清会長)主催の戦没者慰霊祭等が、11月20日にありました。このうち大山野営場で行われた平和の塔献花祭で、参列者は平和の塔に献花したあと、集落ごとに戦没者の名前が彫られた碑を回りながら、殉国の英霊の遺徳をたたえとともに、恒久の平和を祈念していました。



商店街を色鮮やかに

商工会青年部によるペットボトルイルミネーションの点灯式が、11月26日に商店街でありました。点灯式には、サンタクロースが登場し、子どもたちに一足早いクリスマスプレゼントを手渡していました。小雨が降るあいにくの天気でしたが、集まった人たちは、ペットボトルツリーやトンネルで写真を撮るなどして楽しんでいました。